

定住促進サポート事業

平成28年度「定住促進サポート事業」の実施について

1. 平成28年度事業の概要

昨年度、地方創生・事業推進担当では若者の地元定住を促進するため、(1)中学生を対象に故郷を愛し誇りに思う心を育む「子どもミライプロジェクト」、(2)若い世代を対象にUターン定住のきっかけづくりを行う「同窓会プロジェクト」、(3)上記取組みの企画・運営に協力する同郷会的組織「かすみがうら地域産業プラットフォーム」の設立を、国の地方創生加速化交付金を活用した委託事業として実施した。

2. 事業実績

(1) 子どもミライプロジェクト

①「かすみがうら子どもミライ学習」実施計画書の策定

中学生を対象にした3年間の教育プログラムを構築した。

(3年間の学習フロー概要図は「参考1」を参照)

②教材「私のミライ 故郷のミライ」の作成

人口減少問題や若者の定住促進の重要性について解説する教材を作成した。

③平成28年度「子どもミライ出前授業」の実施

中学1年生の教育プログラムとして、今年2月、かすみがうら地域産業プラットフォームメンバーが講師となり、地域の魅力や、地元で仕事をするやりがい伝える出前授業を実施。講演やクラスメイトとの意見交換を通じて、自身や地域の将来像について考えを深めるきっかけづくりを行った。

授業後にはアンケート調査を実施し、地元への愛着度等の把握を行ったところ、全体の6割を超える生徒から「出前授業を受けて、かすみがうら市をもっと好きになった」との回答を得た。(結果概要は「参考2」を参照)

【実施概要】

◇下稲吉中学校：平成29年2月7日（火）5・6時間目

対象：215名（6クラス）

講師：6名（野口氏、久松氏、関口氏、本田氏、伊藤氏、佐賀氏）

◇霞ヶ浦中学校：平成29年2月10日（金）5・6時間目

対象：130名（4クラス）

講師：4名（野口氏、小松崎氏、オニツカ氏、貝塚氏）

◇千代田中学校：平成29年2月17日（金）5・6時間目

対象：67名（3クラス）

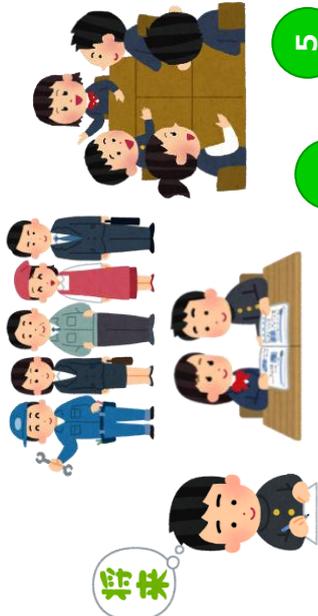
講師：2名（櫻井氏、萩谷氏）

子どもミライ学習のフロー（概要図）

Step1

子どもミライ出前授業

私のミライ故郷のミライを考えてみよう！



1 考える 個人ワーク「10年後の自分」作文

2 聞く 講義「地方創生・市の現状について」

3 聞く 講演「地域で輝く仕事人」地域産業の担い手である若手経営者の体験談など

4 考える グループワーク「市の将来のために私たちができること」

5 伝える 成果発表（各グループ）

Step2

子どもミライワークショップ

市の資源を活かした新商品プランを考えてみよう！



6 聞く 講義「市の資源について」市の歴史や産業、資源、ジオパークなど

7 訪ねる 地域資源見学：農家や事業者等を訪問し活用可能な資源等を調べる

8 考える ワークショップ①「新商品プランを考えてみよう」

9 考える ワークショップ②「商品企画書を作成してみよう」→各グループ1案を選考

10 伝える 成果発表（各中学校）「新商品づくり発表会」→各中学校1案を選考

11 作る 新商品づくり：新商品の試作を事業者などに依頼



Step3

子どもミライマルシェ

新商品を販売してみよう！

12 聞く 講義「商品の販売について」完成した商品の確認と売り方・PR方法など

13 体験 実践「新商品を販売してみよう」イベントやスーパー・店舗などで販売体験

14 伝える 成果発表：市ホームページで公表



中学1年生

中学2年生

中学3年生

参考 2

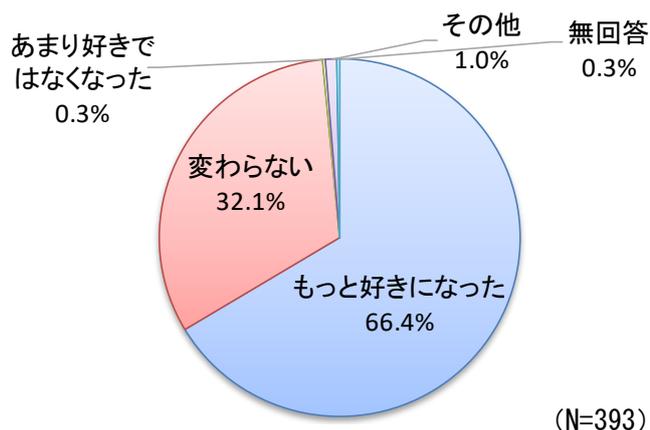
「子どもミライ学習」実施後アンケート結果（抜粋）

問. 出前授業を受けて、かすみがうら市をもっと好きになりましたか。

【全体】

「もっと好きになった」が66.4%と最も多く、6割以上となっている。次いで「変わらない」が32.1%となっており、「あまり好きではなくなった」は0.3%と続いている。

	回答
総数	393
	100.0%
もっと好きになった	261
	66.4%
変わらない	126
	32.1%
あまり好きではなくなった	1
	0.3%
その他	4
	1.0%
無回答	1
	0.3%

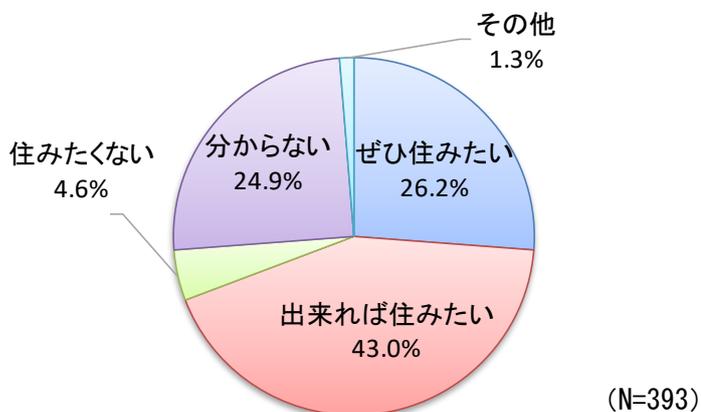


問. 将来、大学進学などでいったん市外へ出たとしても、またかすみがうら市に住みたいと思いますか。

【全体】

「出来れば住みたい」が43.0%と最も多くなっており、次いで「ぜひ住みたい」が26.2%、「分からない」が24.9%と続いている。「住みたくない」の割合は4.6%となっており、「ぜひ住みたい」と「出来れば住みたい」を足した回答は69.2%で、7割近くを占めていることから、定住意向が高いと考えられる。

	回答
総数	393
	100.0%
ぜひ住みたい	103
	26.2%
出来れば住みたい	169
	43.0%
住みたくない	18
	4.6%
分からない	98
	24.9%
その他	5
	1.3%



(2) 同窓会プロジェクト

○平成28年度「かすみがうら市30歳の大同窓会」の開催

若者のUターンや地元定住を促すため、市内中学出身者が集い、同窓生と旧交を温めるとともに、かすみがうら市への居住・就業等に関する情報収集や相談ができる「30歳の大同窓会」を開催した。

【開催概要】

◇日時：平成29年1月28日（土）14:00～16:30

◇会場：L' AUBE Kasumigaura

◇対象者：昭和61.4.2～62.4.1生まれの本市出身者

◇主催：かすみがうら市30歳の大同窓会実行委員会（各中学校の代表者10名で構成） ※市との共催

◇後援：かすみがうら市商工会

◇参加者：南中11人／北中15人／千代田中19人／下稲吉中13人 合計58人
※参加者属性：市内30人／県内市外16人／県外12人

◇内容：会場内に設置した特設コーナーにおいて、地域産業プラットフォームや商工会の協力の下、Uターンや就業・起業に関する情報提供や参加者からの相談対応を行ったところ、県外在住の参加者より「今持っている技能や資格が活かせる仕事があるか？」等の相談を受け、助言を行った。また、アンケート調査を実施し市内への居住に対する意向を確認した。（結果概要は「参考3」を参照）



実行委員の皆さん



Uターン相談コーナー、就業・起業相談コーナー



全体での集合写真

参考 3

「30歳の大同窓会」実施後アンケート結果（抜粋）

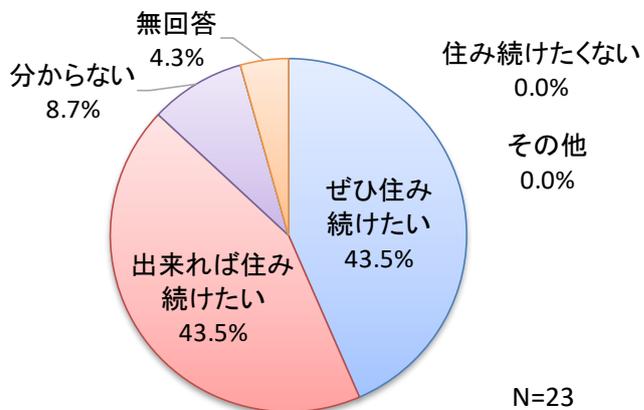
【現在、市内に居住されている方】

問. 今後も、かすみがうら市に住み続けたいと思いますか。

「ぜひ住み続けたい」、「出来れば住み続けたい」と回答した方が 43.5%で最も多く、「住み続けたくない」と回答した方はいなかった。

自由回答の欄では、「出来れば住み続けたい」と回答した方から「生まれ育った地元のためになにかしたいと思うから。」との回答があった。

居住の意思	回答数	割合
ぜひ住み続けたい	10	43.5%
出来れば住み続けたい	10	43.5%
分からない	2	8.7%
住み続けたくない	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	4.3%
全体	23	100.0%



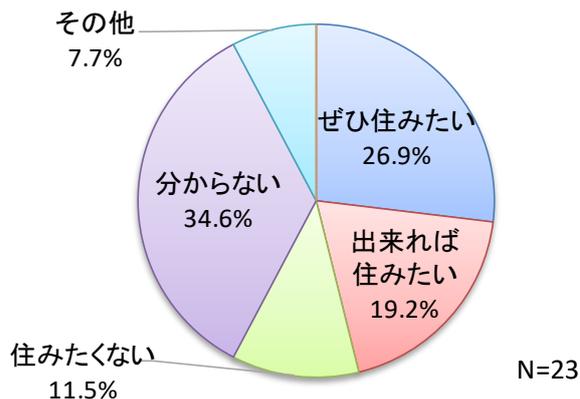
【現在、市外に居住されている方】

問. 将来、かすみがうら市に住みたいと思いますか。

「わからない」と回答した方が 34.6%で最も多く、次いで「ぜひ住みたい」が 26.9%、「出来れば住みたい」が 19.2%であった。

自由回答の欄では、「ぜひ住みたい」と回答した方から「今後はかすみがうら市に移ります」「2018年に帰る予定」との回答があった。また、「その他」と回答された方は、「持ち家のため、移住は難しい」との回答であった。

移住の意思	回答数	割合
ぜひ住みたい	7	26.9%
出来れば住みたい	5	19.2%
住みたくない	3	11.5%
分からない	9	34.6%
その他	2	7.7%
全体	26	100.0%



(3) 同郷会的組織の設立

○「かすみがうら地域産業プラットフォーム」の設立

若者の定住促進を目指した各種事業を効果的に実施するため、農水産業、製造業、サービス業等の分野で意欲的な活動を行っている市内の若手事業者 11名（「参考4」を参照）で構成する「かすみがうら地域産業プラットフォーム」を設立。メンバーは定住促進に向けた取組みの企画に参画するとともに、「子どもミライプロジェクト」における出前授業の講師や、「同窓会プロジェクト」におけるUターン・就業等相談コーナーの運営に協力した。

参考4

「かすみがうら地域産業プラットフォーム」メンバー一覧

	氏名	性別	職業、所属等	所在
1	野口 憲一	男	(株)野口農園（レンコン生産販売） 日本大学文理学部若手特別研究員（博士；社会学）	戸崎
2	小松崎 友二	男	小松崎園芸（野菜、花卉生産） 4Hクラブ、かすみがうら市総合計画審議会委員	中台
3	久松 公生	男	(株)久松哲男商店（栗、落花生、サツマイモ卸問屋・ 加工品製造販売） かすみがうら市青少年相談員	稲吉5丁目
4	関口 慎	男	(有)ソーイングスタジオセキグチ（縫製加工業） かすみがうら市商工会青年部部長	下稲吉
5	桜井 繁行	男	(株)千和（建設業） 元土浦青年会議所理事長、かすみがうら市議会議員	下佐谷
6	貝塚 康博	男	貝塚忠三郎商店（水産加工品製造販売） かすみがうら市商工会青年部副部長、霞ヶ浦帆引き 船操業継承部、	坂
7	本田 英樹	男	パティスリー・プレザン（洋菓子製造販売）	稲吉5丁目
8	伊藤 しのぶ	女	尾池・伊藤法律事務所（弁護士）	稲吉2丁目
9	萩谷 敦子	女	ピッツェリアくーま（飲食店経営）	下稲吉
10	オニツカ サリー	女	シンガーソングライター かすみがうら市ふるさと大使	安食
11	佐賀 正治	男	(株)ひのでや（サツマイモ菓子製造販売）	深谷(牛渡)